

# 毛虫皮膚炎にご注意!!



庭や公園、野山などの植物の近くに行く機会があり、皮膚のあちこちに赤いブツブツができてかゆみが強い時は毒蛾（どくが）の毛虫にやられた可能性があります。

毒蛾でよく知られているのは、ドクガ・チャドクガ・モンシロドクガの3種類です。毒蛾の毛虫には毒針毛（どくしんもう）が1匹に50万本～600万本あって、それに触れた人の皮膚にかゆみを伴う派手な皮膚炎を起こさせます。毒蛾の毛虫は危険を感じると、毒針毛を空中へ大量に発射して身を守ります。毛虫に触れてないのに毛虫に近づいただけでやられるのはそのためです。

昨年は全国的に「チャドクガ」が大発生し、ニュースになりました。チャドクガの大好きな植物はツバキ科のさざんか・椿・茶などです。チャドクガは年に2回発生します。幼虫（毛虫）は、5月のゴールデンウィークのころと、8～9月に発生します。チャドクガは毛虫だけでなく、卵、サナギ、成虫（蛾）、脱皮殻まで人を刺すので要注意です。



成虫

羽の先に2ヶの小さい黒点  
2cm位の黄色っぽい蛾



チャドクガの卵塊（黄色の毛玉状）



チャドクガの若齢幼虫の集団

## ドクガにやられた!と思ったら

ドクガの毒針毛が付着していると思われる部位に、セロハンテープやガムテープを貼って毒針毛を取り、そのあと長く流水で洗い流します。

手でこすったり、搔いたりすると炎症部位を拡げることになるので注意しましょう。

その後、皮膚科を受診してください。

治療は、ステロイド軟膏の塗布です。中等症以上の場合は軟膏のほかに、抗アレルギー薬を内服します。重症には、短期間のステロイド剤の内服が処方されることもあります。

軽快するまでには、軽症の場合4～5日、中等症以上は1週間から10日はかかります。